

愛知県環境学習等行動計画全体図(案)

資料1

環境学習を取り巻く状況

これまでの取組

愛知県環境学習基本方針 (H17.1 策定)

<目標>

持続可能な社会の構築

<内容>

○4つの学びの段階に沿って環境学習を推進

出あい・気づきあう、学びあう、
活かしあう、つながりあう

○人づくり、プログラムづくり、ネットワークづくりを推進

行動計画策定の背景

- 愛知万博・COP10による環境に対する関心の高まり
- 環境教育等促進法の改正 (H23.6)
- 新学習指導要領の導入 (H23~)
- 東北地方太平洋沖地震の発生 (H23.3)
- 持続発展教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議の開催 (H26.11)

現状の課題

各主体がそれぞれ環境学習を単発的に実施しており、あまり広がりが見られない

対応

○課題に対する対応

①継続的・発展的な環境学習の推進

- ・「社会」と「学校等」において、各主体が各々役割を認識し、期待される取組を継続的・発展的に実施
- ・体験学習の充実
- ・情報提供の充実

②連携・協働取組の強化

- ・協働取組のルールづくり
- ・連携・協働機能の充実

○対応にあたっての留意点

①ESDの視点の導入

持続可能な社会づくりに必要な「身につけるべき能力や態度等」を認識して学習や活動の質を高めるESDの視点を導入

②愛知らしさの活用

愛知の豊かな自然、大都会から過疎地域までの多様な環境、県民や事業者の環境に対する意識の高さの活用

施策の
展開
I~III

	主体	期待される主な取組	県の推進する主な施策
I 社会における環境学習の推進	県民	① 各主体が実施している環境学習講座や環境保全活動への参加 ② 省エネ・省資源型の暮らしの実践 ③ エコヘル商品、地産地消などの商品の購入時に環境負荷を考慮するグリーン購入の実践 ④ 家庭における環境学習の推進	① 自然体験学習等の推進 ② 地球温暖化に関する学習の推進 ③ 水に関する学習の推進 ④ 資源や廃棄物に関する学習の推進 ⑤ 買い物や食に関する学習の推進
	事業者	① ライフサイクルの視点で環境に配慮した商品・サービスの提供や環境マネジメントの導入・実施 ② 社員教育の中での環境教育の実施 ③ 多様な主体と連携・協働した環境学習の実施	① 環境マネジメントに関する情報提供と導入の促進 ② 社員に対する研修等の実施 ③ 事業者が持つ専門性を活かした環境学習の促進
	NPO	① 地域における環境保全活動及び環境学習の実施 ② 学校・事業者・行政との連携・協働による環境学習の実施	① 環境学習等を実施する団体に対する支援 ② 多様な主体の連携・協働による環境学習等の推進
	行政	① 環境学習に関する行動計画の策定及び推進 ② 環境や環境学習等に関する情報の収集・提供 ③ 環境学習指導者の育成 ④ 環境における安全・安心教育の充実 ⑤ 環境学習を行う団体等への支援 ⑥ ESDの普及啓発等	① 環境学習に関する県内全域を対象とした行動計画の策定 県民・事業者・NPO・市町村等を構成員とした協議会及び全市町村からなる連絡会議等による行動計画の推進 ② インターネット等による情報提供の充実 ③ 環境学習指導者育成の推進 ④ 公害の歴史や有害化学物質・放射能等の環境教育の推進 ⑤ 環境学習等を行う団体・市町村に対する財政的な支援及び表彰・コンクール等による支援 ⑥ 世界会議及びESD等の普及啓発等
II 学校等における環境教育の推進	学校等	① 発達段階に応じた環境教育の実施 ・実体験を伴う体験学習の実施 ・多様な主体と連携・協働した環境教育の実施	① 幼稚園小学校低学年 自然にふれあう学習の推進 小学校高学年・中学校 地球温暖化や水等に関する学習の推進 多様な主体と連携・協働した学習の推進 環境学習教材の提供 高等学校 再生可能エネルギーに関する学習の推進 自然科学等に関する学習の推進 大学 大学と連携・協働した環境保全活動の推進 大学と各種学校等の連携・協働の促進 ② 公害の歴史や有害化学物質・放射能等の環境教育の推進 ③ 環境教育に関する研修への参加促進 ④ ESDの導入 (ユネスコスクールへの加盟促進)
III 連携・協働の強化			
① 協働取組のルールづくり 協働のルールづくり、県と県民・事業者・NPO等との協働取組の促進 行政間の連携強化、行政内部の連携強化			
② 連携・協働機能の充実 情報提供機能の充実・・・本県のホームページ「あいち環境学習情報ライブラリー」等の充実 調整機能の充実・・・環境学習のコーディネーターの設置等 環境学習施設等の連携強化・・・市町村や愛知県環境学習施設等連絡協議会における施設等の連携強化			
環境学習の推進体制 : 愛知環境教育等推進協議会、分科会			

目指す愛知の姿

脱温暖化、資源循環及び自然共生といった取組が進み、県民が将来にわたり健康で安全・安心して暮らせる環境が確保された

「持続可能な社会」

目的

環境面で持続可能な社会を支える人づくり

参考 4つの学びの段階に応じた施策の整理

県民の方々がすぐに環境学習に活かせるよう4つの学びの段階に応じて具体的な施策を整理したもの